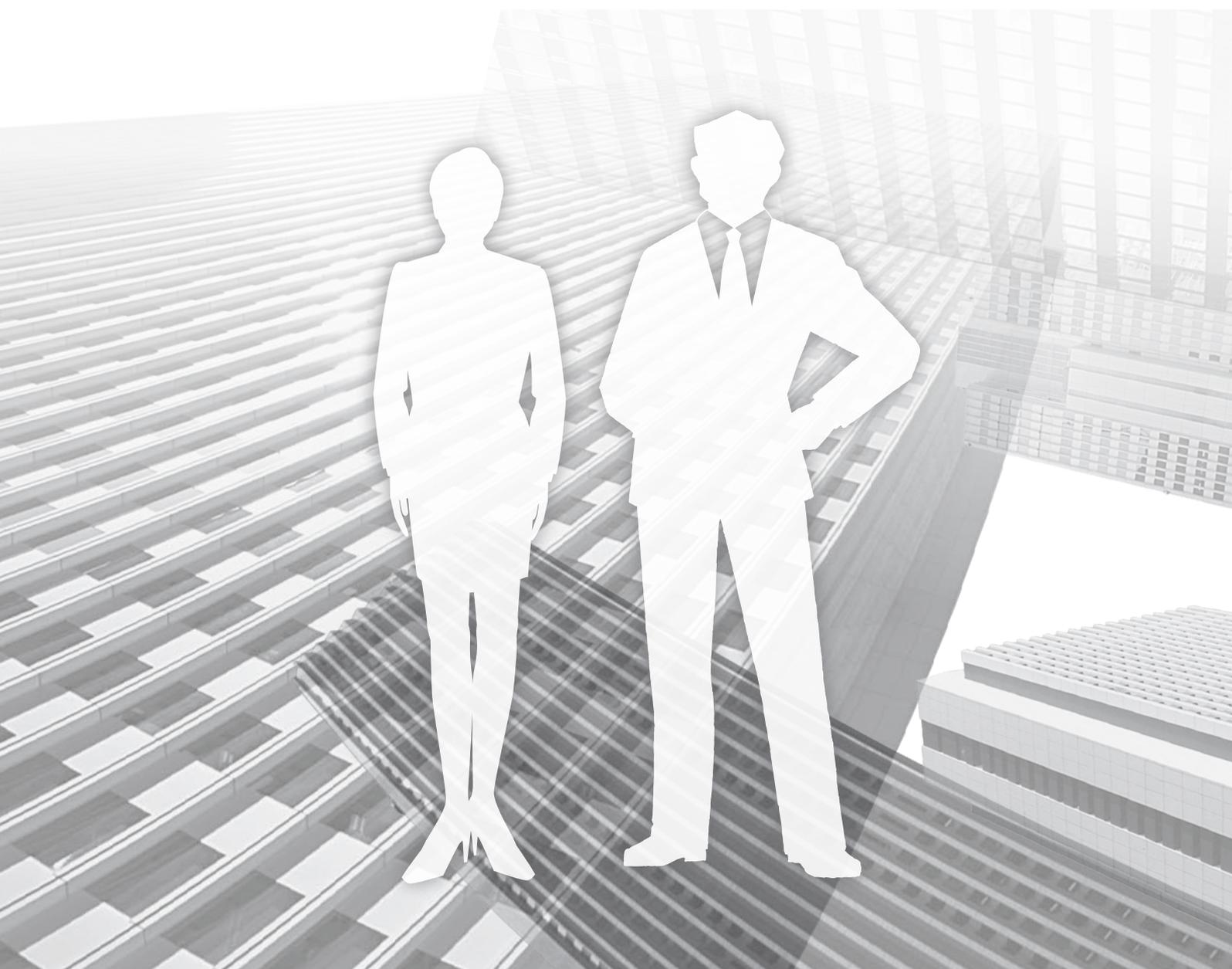


東京会場

登壇者プロフィール



第1部 シンポジウム「震災と人権 ～被災者の方々の心に寄り添う復興のために～」



パネリスト

布施 龍一 (ふせ・りゅういち)

特定非営利活動法人フェアトレード東北代表理事

【団体沿革】

- 2000年4月 任意団体として設立 障がい児童への支援を開始
- 2008年4月 NPO法人格取得（4月30日）
ニート・引きこもり・独居高齢者等を対象にしたソーシャルファーム事業を開始
- 2011年3月 被災弱者を対象にした物資支援・巡回訪問支援を開始
- 2011年7月 石巻市より「巡回型被災高齢者等訪問業務」受託
- 2012年4月 宮城県石巻市において被災者を対象にしたソーシャルファームを開始
- 2013年3月 沖縄県より「ソーシャルファーム事業」受託
- 2013年10月 復興庁より「『新しい東北』先導モデル事業」受託

【現在の取組】

ソーシャルファーム事業

ニートや引きこもり、シングルマザー、独居高齢者等、社会から孤立している人たちに、居場所や生きがい、就労機会の場を提供する農場を運営。現在は、宮城県石巻市・東松島市で事業を実施。

本事業は支援者の寄付や競輪の補助を受けて実施。

災害被災者支援事業

東日本大震災の復興支援をする中で得た経験・人脈ネットワークを生かし、国内外で発生する災害に対し支援を実施。

2013年11月、フィリピンが台風で甚大な被害を受けた際には、SNS等で支援を募り、集まった物資をフィリピンへ輸送。

一時預かり・病児・病後児保育事業

2011年より病児・病後児保育を開始。2014年4月より一時預かり保育を再開。

不登校児支援事業

2013年度学校基本調査において、中学生の不登校出現率が最多となった宮城県。その中でも、特に石巻市がワーストとなっている。以前より小学生・中学生における不登校児童の多さは問題になっていたが、東日本大震災の影響でさらに深刻化。2014年度より、県内の小中学生の不登校児を対象に、学習支援・社会教育の場を提供する。

【これまでの取組】

巡回型被災高齢者等訪問事業

支援の届かない被災した独居高齢者や高齢世帯を中心に、孤立・孤独死の予防を目的として、定期的な戸別訪問を実施。2011年7月より石巻市からの委託事業として運営。2014年3月にて当団体での事業は終了。

【受賞歴】

- 2010年 「人間力大賞・人間力開発協力奨励賞」公益社団法人日本青年会議所
- 2011年 「希望の象徴」米国研究製薬工業協会
- 2011年 「平成23年度地域づくり総務大臣表彰 団体表彰」総務省
- 2012年 「平成24年度あしたのまち・くらしづくり活動賞 内閣総理大臣賞」
公益財団法人あしたの日本を創る協会
- 2014年 「Revive Japan Cup2013ポリシー部門 復興政策 優秀提言」復興庁

○特定非営利活動法人フェアトレード東北 <http://ft-tohoku.org/>

○Relieffarm リリーフファーム <http://relieffarm.miyagi.ch/>



パネリスト

小谷 雄介 (こたに・ゆうすけ)

特定非営利活動法人遠野まごころネット副理事長・本部事業統括マネージャー

- 1986年～2005年 宝飾品総合商社 株式会社内原 勤務
デザイン室に配属、ブランド担当課長を経て静岡県浜松市、遠鉄百貨店宝飾売場の店長（次長）として配属。
- 2005年～2010年 株式会社ダヴィンチ 代表取締役
2010年 個人事業主 コンシェルジュを開業
- 2011年4月 非営利団体ボランティアコネクトサポートネットワーク設立
岩手県遠野市に拠点を置き、NPO法人遠野まごころネットの構成団体として協働し被災地支援を開始
NPO法人遠野まごころネットへ活動車両8台（軽自動車・バン・軽トラなど）寄贈
- 2011年8月 NPO法人遠野まごころネット 大槌生活支援チーム創設
2012年1月 NPO法人遠野まごころネット 釜石生活支援チーム創設
2012年3月 一般社団法人社会的包摂サポートセンター 地域センター遠野コーディネーター就任
よりそいホットラインの電話相談・同行支援業務を2013年3月まで担当
- 2012年6月 内閣府「復興支援型地域社会雇用創造事業」インキュベーションマネージャー・プログラムオフィサー就任
- 2012年9月 NPO法人遠野まごころネット 本部事業統括マネージャー就任
- 2013年1月 NPO法人ボランティアコネクトサポートネットワーク代表理事就任
陸前高田市上長部、大槌まごころ弁当、大槌町まごころの郷、大槌町は一ぶの郷へコミュニティースペース「キューブハウス」を寄贈
- 2013年4月 NPO法人遠野まごころネット 副理事長・事業統括マネージャー就任

主に遠野まごころネットでの、総合相談支援センター（自殺対策事業・灯油支援事業・パーソナルサポート事業）、大槌たすけあいセンター（事業企画）、まごころ就労支援センター（指定障がい者サービス事業）、内職支援事業、6次産業化モデル事業（三陸海鮮餃子・オーガニックハーブ等の商品開発）などにより、地域づくり、なりわい創造などへの事業化案件の企画立案実行業務を担当。現在は、障がい者への就労支援プログラム・就農支援プログラムを企業と協働し、沿岸被災地においての障がい者自立支援プログラムを進めている。

○特定非営利活動法人遠野まごころネット <http://tonomagokoro.net/>



パネリスト

西辻 一真 (にしつじ・かずま)

株式会社マイファーム宮城亘理農場代表取締役

2006年4月 株式会社ネクスウェイ入社
2007年9月 株式会社マイファーム 創業 代表取締役 就任
2010年9月 農林水産省政策審議委員 就任
2014年9月 内閣府国家戦略特区農業特区委員 就任

幼少期に過ごした福井県三国町の社宅での家庭菜園経験がきっかけで、自然・野菜が非常に好きでそれらに触れ合う機会が多かった。その中で高校時代に通学路の途中の田畑に作付がされていないことに気づき、使われていないなら自分が面白い農作物を発明して植えようと思い、バイオテクノロジー研究者を志す。

大学時代は植物生産管理学を学び、様々な農作物の栽培を行ったがその研究は何のためかを考えた時に、世界の食糧問題に寄与するためだと先生から教わった。そこで単位面積あたりの収量や労働時間あたりの収量を増やす方法以外に、農家を増やす方法もあるのではないかと思い、自分の使命は自分の幼少期の想いを重ね合わせて「楽しく農業を始めればいいのか」と思い、それを、耕作放棄地を利用して行うことで一石二鳥の解決策として事業を構想して起業をした。

震災前は全国100か所以上の場所で体験農園を展開し、農業学校の運営を関東・関西で行っていたが、震災後はそれまで行っていた活動の延長線上に、津波の被害を受けた耕作不可能地があると考えて現地に入り、被災した農家さんと一緒に雇用を行い、独自で改良した塩害解消資材を農地に撒いて営農を再生させた。

【主な著書】

「マイファーム 荒地からの挑戦 農と人をつなぐビジネスで社会を変える」(学芸出版社)

「ぼくらは働く、未来をつくる。 向井理×12人のトップランナー」(朝日新聞出版)

※トップランナーの一人として、西辻氏が対談

○株式会社マイファーム宮城亘理農場 <http://myfarm-watari.co.jp/>

○株式会社マイファーム <http://myfarm.co.jp/>



コーディネーター

横田 洋三 (よこた・ようぞう)

法務省特別顧問

国際労働機関 (ILO) 条約勧告適用専門家委員会委員

公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長

元・国連人権促進保護小委員会委員

- 1969(昭和44)年 国際基督教大学教養学部専任講師
 1971(昭和46)年 国際基督教大学教養学部助教授
 1974(昭和49)年 世界銀行法務部法律顧問
 1979(昭和54)年 国際基督教大学教養学部教授
 1983(昭和58)年 アデレード大学客員教授
 1984(昭和59)年 コロンビア大学客員教授
 1988(昭和63)年 国連差別防止及び少数者保護小委員会代理委員
 1991(平成3)年 国連人権委員会ミャンマー担当特別報告者 (1996年まで)
 1995(平成7)年 東京大学法学部・大学院法学政治学研究科教授
 2000(平成12)年 国連人権促進保護小委員会委員
 2001(平成13)年 中央大学法学部教授、国連大学学長特別顧問
 2003(平成15)年 ILO条約勧告適用専門家委員会委員
 2004(平成16)年 中央大学法科大学院教授
 2006(平成18)年 財団法人人権教育啓発推進センター理事長
 2010(平成22)年 ILO条約勧告適用専門家委員会委員長
 ※2013(平成25)年6月まで、同年7月からは委員
 2012(平成24)年 公益財団法人人権教育啓発推進センター理事長

◆主な担当分野 国際法、国際機構論、国際人権法、国際経済法

◆研究テーマ 国際経済法と国際公共政策、国際機構法の体系的研究、国際人権法の強行法規性

【主な著書】

- 「歴史はいかに書かれるべきか」(翻訳)(講談社学術文庫)
 「二〇世紀と国際機構」(国際関係基礎研究所)
 「日本の国際法事例研究(1)～(5)」(共著)(慶應義塾大学出版会)
 「新版国際機構論」(共著)(国際書院)
 「国連再生のシナリオ」(共訳)(国際書院)
 「国連の可能性と限界」(共訳)(国際書院)
 「国際法入門」(共著)(有斐閣)
 「国際組織法」(共著)(有斐閣)
 「国際機構の法構造」(国際書院)
 「日本の人権／世界の人権」(不磨書房) ほか

第2部 トークショー／講演



なすび

タレント 俳優
劇団「なす我儘（がまま）」主宰
ふくしまあったか観光交流大使
ふくしまDCけんぼく応援団長
なすびと一緒にみんなで東北応援隊！

1998年～1999年、日本テレビ系『進め！電波少年』内の企画“電波少年的懸賞生活”で一躍注目を浴び、本格的に芸能界デビュー。

以後は、元々俳優志望だったこともあり、2002年に脚本・演出・出演を務めるプロデュース公演“なす我儘”を旗揚げし、舞台を中心にテレビに映画にと活動の幅を広げている。

また、2011年3月11日の東日本大震災以降、地元福島県の復興と再生を願い応援活動も精力的に続けており、福島に元気と勇気・夢と希望をとエベレスト登頂を目指す“なすびのエベチャレ”を敢行した。（2013年4月～6月、2014年4月～5月）

現在は、あったかふくしま観光交流大使としても活動中。平成27年度4月～6月の【ふくしまディスティネーションキャンペーン】けんぼく応援団長にも就任している。

【主な著書】

『懸賞日記』＜1＞～＜6＞（日本テレビ放送網／1998）

○なすびと一緒にみんなで東北応援隊！

<http://socialimagine-pj.wix.com/nasubi>

○なすびの福島パワーアップ的エベレスト登頂計画 エベチャレ

<http://evechalle.com/>

東京会場

レジュメ



フェアトレード東北の活動報告

1. フェアトレード東北、団体名の由来

若者支援

・非行、不登校の若者

⇒何かをさせねば…一緒に仕事できないか!



・様々な症状、状況下で苦しむ若者

⇒みんなで一緒に活動、米づくり



地元では、農家や行政から

「アホなことをやっている」と煙たがられる

⇒ 助成金などはあてにならない

活動資金を確保のために

⇒ フェアトレード商品を仕入れて販売

「フェアトレード東北(以下、FTT)」

2.FTTの震災直後の活動

地元スタッフと共に市内全域の戸別生活実態調査

牡鹿半島、市内沿岸部(湊、渡波地区など・・・)
を中心に20,000件



孤立した高齢者への物資配給

拠点、戸別含め
1,500～3,000件/日



3.在宅被災者の生活実態把握

コミュニティ崩壊による情報不足 高齢者世帯、独居が多い

特に頼る相手がいない一人暮らしの高齢者などを中心に訪問
一人一人が抱える問題を共有していくことを第一課題



見守り・訪問

↓
地域での高齢者の孤立化を防ぐ



専門家と改善策を提案 食糧支援・心のケア・医療、介護相談など

↓
より効果的な生活支援を行う

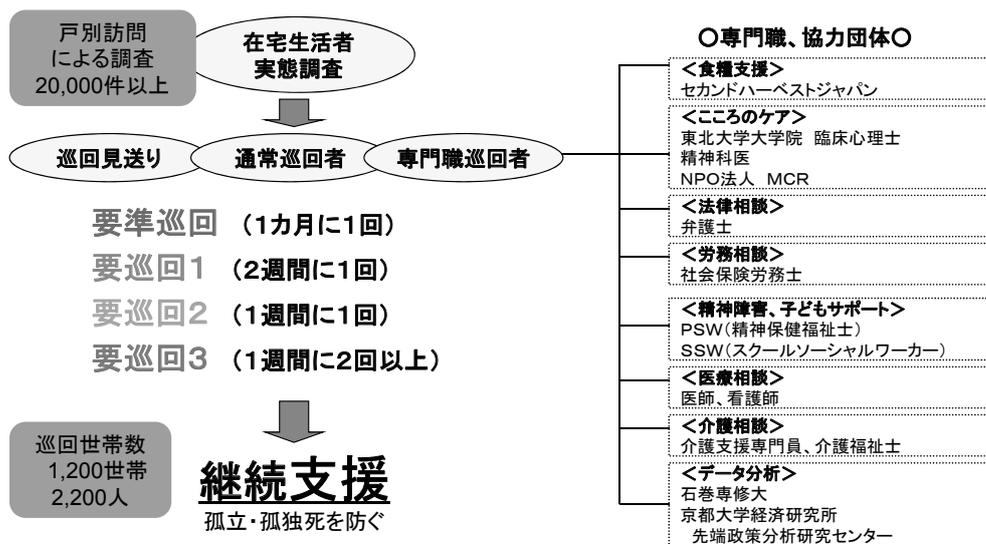


石巻の現状を行政へ訴える

4.石巻市からの業務委託

巡回型被災高齢者等訪問事業(以下、巡回事業)

- ・石巻市福祉総務課より業務委託
- ・2011年7月より開始



5.震災により顕著となった課題解決

拡大した社会的孤立

- ◎精神的問題
 - ・コミュニティの崩壊
 - ・家族、友人などの喪失
 - ・避難生活による孤立化
- ◎経済的問題
 - ・収入がなく子供を預けられない
 - ・生活の困窮化
- ◎就労問題
 - ・子供を預けられず就労困難
 - ・働く場所の不足
 - ・体に不自由があり働けない
- ◎行政問題
 - ・子供の預け先がない
 - ・自立支援先がない
 - ・医療費の増加

課題解決のために

ソーシャルファーム

- ・リハビリ型
- ・孤立した高齢者を対象

SFの画像

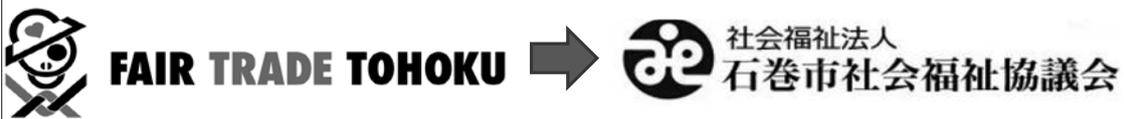
託児所Orange

- ・一時預かり型
- ・シングルマザーを対象

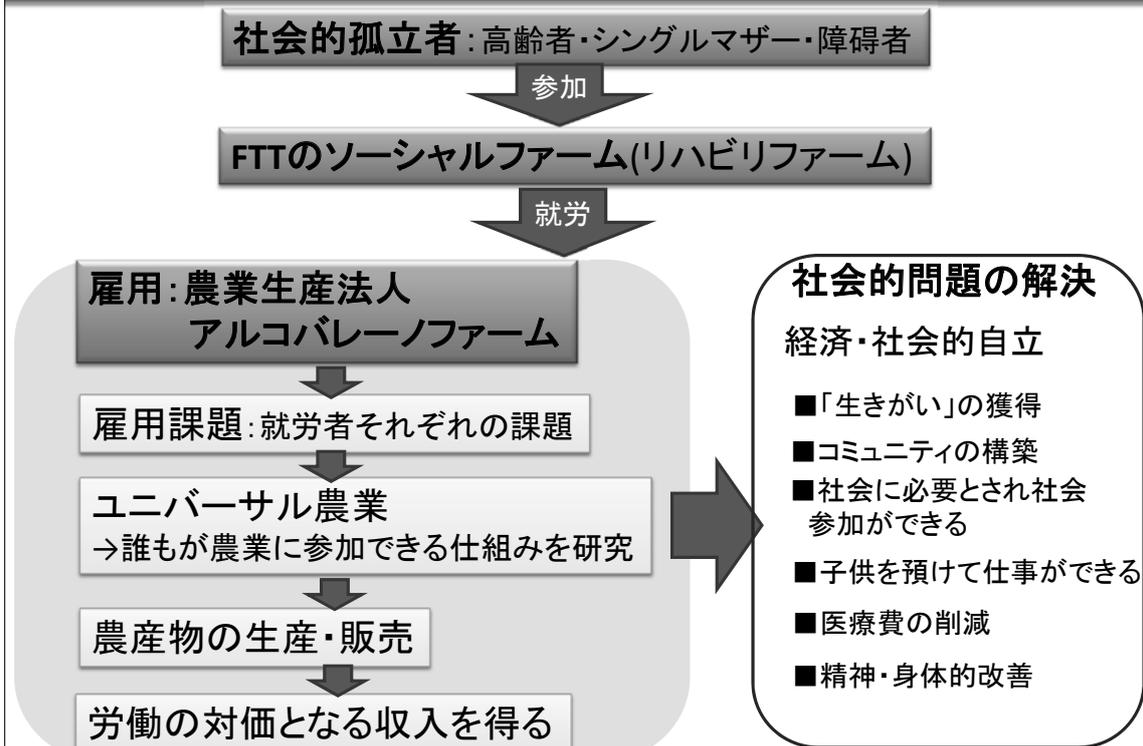
オレンジの画像

6.巡回事業の終了

- 2013年3月 巡回事業の終了
- FTTの巡回事業のノウハウを
石巻市社会福祉協議会へ活動を移譲
- 2011年7月～2013年までの対象者も移譲



7.震災から3年



被災地における障がい者の現状

NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page1

「被災した障がいのある人の実状について」

2013年3月11日、東日本大震災発生により、地域コミュニティが崩壊した。復興は進まず、新たな希望を見いだせないまま、人々は地域から離れている。被災地での若年層（生産人口）の人口流出は大きな社会的問題であり、地域に残された社会的弱者（災害弱者・高齢者・障がい者・子どもを抱える世帯）と、震災によって仕事を失った世帯や心のケアが必要な世帯への継続的支援は益々重要となる。

■ 岩手県における沿岸被災地の人口に対する障がい者比率※市町村よりヒアリング/県HP

- ・釜石市：2,198人/35,840人 H2609/H2610 ※震災前39,411人
- ・大槌町：857人/11,690人 H2603/H2610 震災前15,234人

■ 大槌・釜石圏域の障がい福祉サービス事業所

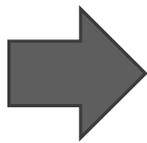
- ・就労移行支援 3カ所（定員24名）
- ・就労継続支援A型 2カ所（定員15名）
- ・就労継続支援B型 7カ所（定員121名）

NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page2

「被災した障がいのある人の実状について」

【被災による問題？通常社会の問題？】

- ① 被災地域の人口流出で、高齢者比率が高まると同時に障がい者比率も高い。
※首都圏で就職したものの障がいを抱えてしまうリターン者も増加
- ② 復興が進んでも障がいを抱える人々は、復興から取り残される可能性が大きい。
- ③ 就労施設（ハード面）と就労継続するための仕事の不足（ソフト面）。
- ④ 自立するための環境（GH）が足りない。
- ⑤ 支援スタッフの人材不足
- ⑥ 特性を生かした仕事を選べない



被災地域の障がい者は、震災前も震災後も
自立したくても自立できない環境にある
 では解決する為に必要なコト・モノってなんだろう？
 自立するための要素ってなんだろう？

NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page3

被災地域での社会的困窮者に向けた

※2013年8月より開始

まごころ就労支援センターの開設

「つながる」「居場所をつくる」「生きがい創出」「就労へのつながり」
 「経済的自立」「精神的自立」「社会的自立」を目指す

- ・ コールセンター機能を持つ、「まごころ電話相談室」（自殺対策室）は電話・対面相談を総合相談の入口として位置づける。
- ・ 「まごころ就労支援センター」は、障がい者への個別支援を目的とした就労継続支援を行う。
- ・ 就労支援・就農支援プログラムをさまざまなステイクホルダーと企画・実行する。社会参加へのスキルアップ講座やコミュニティワークサロンでの手内職プログラム、IT支援プログラムを企業等と開発し、利用者のスキルに合わせた作業を用意し、伴走型サポートを行う。
- ・ 企業への就職活動、就職後のサポートをすることで、継続的で包括的な支援体制を岩手県沿岸部及び県南地域でとることが可能になる。



NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page4

「被災した障がいのある人への支援事業」

地域の復興と人々の自立に必要ななりわいづくり・就労支援（雇用創出） 新たな産業創出と世代を超えたコミュニティづくりを通して、障がい者の「生きがい」を創出を目的とする。

1、農業と福祉が連携した就農支援プログラム

6次産業化事業を活用した果樹園づくりを行い、障がい者就農による栽培で、地域活性化を担う社会事業モデルとしてのソーシャルファームを実践する。
地域の社会的問題でもある、障がい者・高齢者への雇用を生み出す就労支援を行う。



2、ものづくり工房

障がい者の為の就労支援センターとして、IT・木工・地域食材など活用したものづくりを行い世代を超えたコミュニティをつくり、「生きがい」の創出を目的とする。



NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page5



×



さまざまな企業（CO）とのパートナーシップ

地域（被災地）の社会的問題を解決するのは行政だけの役割ではない。
企業が持つ資金・人材・スキルを活用することにより、問題解決を行う。

パークレイズ銀行

大槌・釜石圏域においての障がい者の為の就労支援プログラムを2014年7月より開始。
ITを活用したものづくりを行える環境を整える。単なる資金提供だけでなく人材（プロボノ）を定期的に派遣している。

【主な支援】

- ・ITスキルアップの為の機材（レーザー加工機・3Dプリンター等々のIT関連機材）提供
- ・地域ブランドづくりのための食品加工機材（主に厨房施設機械）
- ・スタッフ及び障がい者への人材育成プログラム（IT講座や農業指導者の派遣）
- ・商品開発や企業販促品開発・販売を行う。

NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page6



×



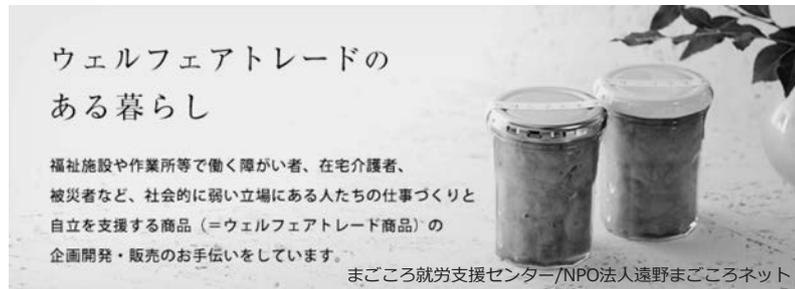
【ブランディング×新しいモノづくり】

ウェルフェアトレード=〈Welfare=社会福祉〉×〈Fair Trade=公正な取引〉障がい者が働く福祉施設や、仕事を失った被災者がつくる製品を、適正な価格で購入・利用しだれもが自立できる社会を支援するしくみです。

マザーネスパブリッシングとのコラボにより、新しい価値観を持ったモノづくりと仕事づくりを被災地へ。首都圏を中心に活動しているマザーネスパブリッシングのネットワークと被災地でのネットワークを掛け合わせた地域ブランドづくりに取り組むことは、旧態依然の福祉作業所からの脱却と沿岸被災地の意識を変えるものである。

WEB構築・食材等、多岐に渡ったブランディングを行っています。

マザーネスパブリッシング
<http://mothernessp.com/>



NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page7



×



The Power of Fashion to You.

【企業の被災地支援からつながるモノづくり】

マルイグループ株式会社とNPO法人遠野まごころネットとは東日本大震災後、ボランティア活動を通してつながりました。緊急的な支援から継続的な支援にシフトしていく中で、活動自体も被災地のフェーズに合わせて変化しました。マルイグループが持つ企業力(商品開発・販売力)を活かす内職支援を行うことにより、「ねこピンチ」が生まれました。

仮設にお住まいの高齢者や震災から取り残されやすい障がい者の為に、継続的な仕事づくりをマルイグループのボランティアチーム(商品開発担当者や販売員)が行っています。「ねこピンチ」は2014年8月より、5店舗でプロバー展開、全国の店頭イベント等で月/300匹を販売しています。

- ・「ねこピンチ・月/300匹」販売
- ・「丸井オリジナル財布のポーチづくり・月/2,000枚」納品
- ・新商品「まごころテッシュケース」は2014年8月から全国の丸井5店舗で販売開始

今後の展開として、帆布材料を使った地域ブランドづくりを計画しています。



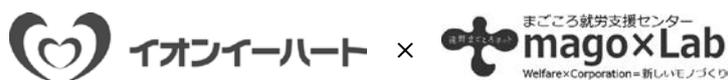
まごころ就労支援センター/NPO法人遠野まごころネット

NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page8

三陸海鮮まごころ春巻



- 春巻きの皮（岩手県産ゆきちから）
- 三陸鮭（三陸産）
- めかぶ（三陸産）
- バジル（岩手県大槌産）
- しいたけ（岩手県遠野産）
- タケノコ（国内産）
- にんじん（国内産）
- はるさめ（国内産）
- 長寿味噌で味付け



【企業の被災地支援からつながるモノづくり】

NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page9

団体概要

東日本大震災発生直後、2011年3月28日岩手県遠野市有志が被災地支援の為に結成。

2011年7月に非営利活動法人認証。

主な活動地は岩手県大槌町、釜石市、大船渡市、陸前高田市、遠野市、盛岡市。

災害復旧支援（がれき撤去）から「生活支援」「コミュニティづくり」「なりわいづくり」「雇用創出」「産業支援」など幅広い支援活動を展開。

これまでに受け入れてきたボランティア数は国内海外あわせて9万人を超えた。

構成団体60以上・連携企業200社以上・国内外財団（スイス・イギリス・ドイツ・アメリカ）。

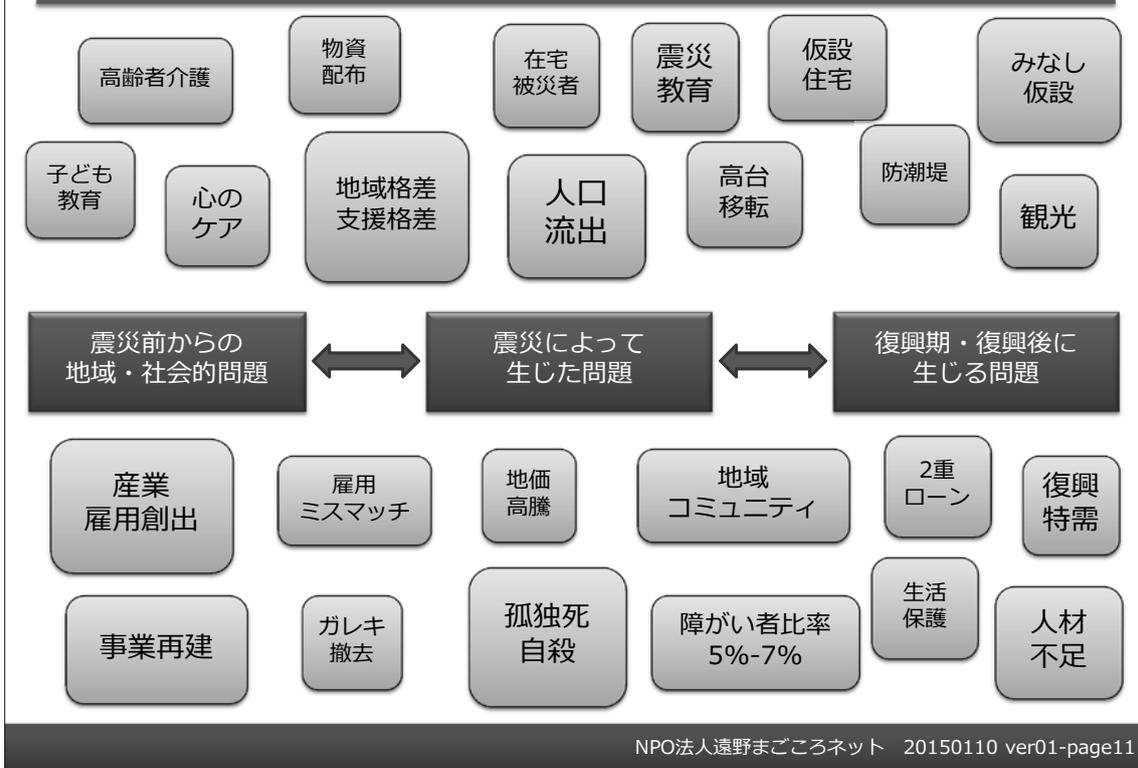
- ・設立：2011年3月 法人認証2011年7月
- ・組織形態：特定非営利活動法人（NPO法人）
- ・スタッフ数：30名
- ・事務所：遠野市・大槌町・釜石市・盛岡市・東京・大阪

- ・2012年-2014年 委託事業：岩手県・自殺対策緊急強化事業
- ・2013年-2014年 委託事業：盛岡市・絆デザイン事業（緊急雇用）

- ・自主事業 指定障がい者福祉サービス事業・大槌釜石圏域（事業指定番号0312900111）
遠野まごころネット旅行センター（旅行業2種免許）
総合化事業計画に基づく6次産業化認定事業「三陸海鮮春巻」「ラベンダーサシェ」

NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page10

参考資料



NPO法人遠野まごころネット 20150110 ver01-page11

津波による水利の崩壊している地域での農作物栽培

株式会社マイファーム宮城巨理農場
代表取締役 西辻一真

Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved

東日本大震災によって私たちは自然の恵みを失い、
自然の脅威を感じるようになりました。



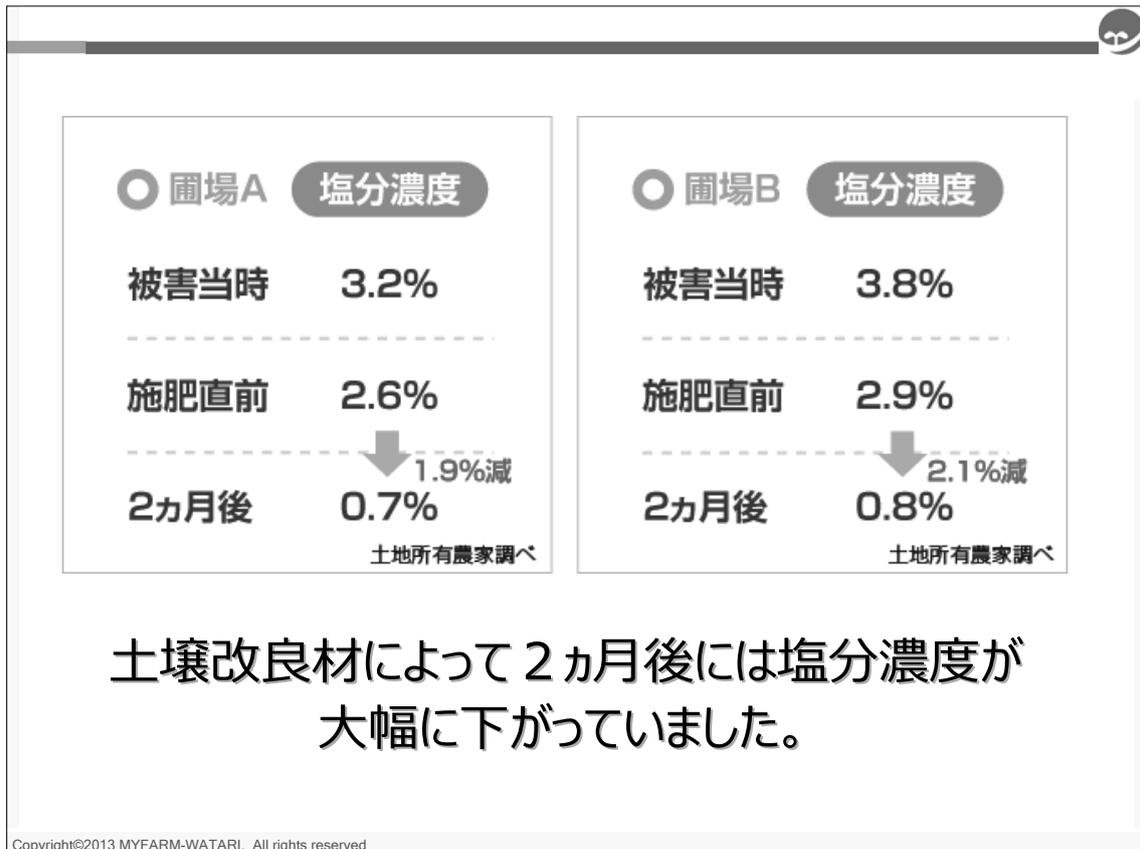
Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved



Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved



Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved







初出荷前に糖度などの品質チェックもしました。

Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved



糖度7のきれいなトマトができました。

Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved



Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved



今年は去年の反響が大きかったため、
去年よりも多く作ることができています。



Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved

本当に多くの方々に支えていただきまして
ありがとうございました。



Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved



今年も頑張ります。
ご清聴ありがとうございました。

Copyright©2013 MYFARM-WATARI. All rights reserved